

福井県 J Aバンクにおける地域密着型金融の取組状況（平成 27 年度）

福井県 J Aバンク（福井県下 J Aと福井県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度福井県 J Aバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 27 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

福井県 J Aバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

福井県 J Aバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 28 年 3 月末時点の福井県 J Aバンクの農業関係資金残高^(注1)は 9,161 百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 1,598 百万円を取り扱っています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 福井県 J Aバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

	平成 28 年 3 月末現在
農業	4,677
穀作	2,415
野菜・園芸	316
果樹・樹園農業	9
工芸作物	0
養豚・肉牛・酪農	140
養鶏・鶏卵	31
養蚕	0
その他農業 ^(注3)	1,763
農業関連団体等 ^(注4)	4,484
合計	9,161

(注)

- 3 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています。
- 4 「農業関連団体等」には、J Aや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成28年3月末現在
プロパー農業資金 (注5)	7,868
農業制度資金 (注6)	1,293
農業近代化資金	1,037
その他制度資金 (注7)	255
合 計	9,161

(注)

- 5 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 6 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を福井県JAバンクが転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことで福井県JAバンクが低利で融資するものを対象としています。
- 7 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成28年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (注8)	1,598
そ の 他	0
合 計	1,598

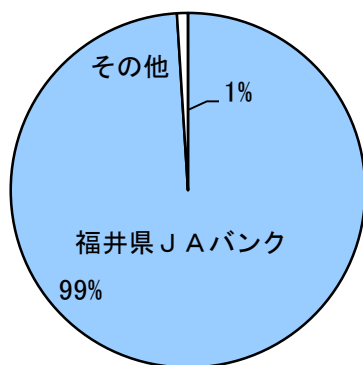
(注)

- 8 福井県JAバンクでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

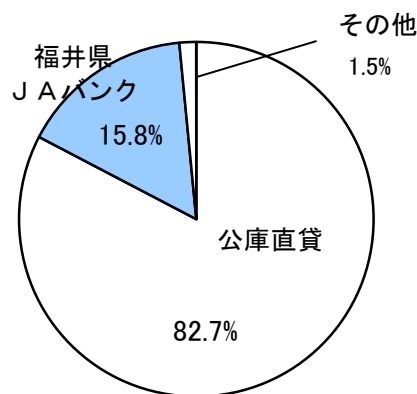
福井県JAバンクは、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金（公庫直貸除く）の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【福井県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

農業近代化資金取扱いシェア
(平成27年12月末時点)
出所：福井県信連調べ



公庫農業資金取扱いシェア
(平成28年3月末時点)
出所：福井県信連調べ



(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

福井県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取組みを行っています。

JAでは、本支店の農業融資担当者が営農・経済部門等と連携しながら、農業融資に関する資金提案や経営相談対応等を実施しています。これを支える体制として、豊富な農業金融知識をもった農業融資の実務リーダーである「担い手金融リーダー」を、平成27年度末時点で12JAおよび信連あわせて15名配置しています。

JA系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成27年度末時点で県内に32名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築しており、これらの機能の拡充、強化に努めています。

また、福井県JAグループでは、JA福井県五連が一体となって「組合員トータルサポートセンター」を構築しており、担い手に対し事業部門を横断した総合的なサポートに取り組んでいます。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

具体的取組事例

J A 福 井 市：貸付担当者と営農指導員の同行訪問を実施。
J A福井市南部：月1回、信用担当者が営農指導員配属店舗へ赴き情報交換を実施。
J A花咲ふくい：JA花咲ふくい水田農業経営協議会において、認定農業者や生産組織代表者、および営農・経済事業職員を対象に、信用担当者が農業資金に関する知識を習得するための研修会（PR）を開催。
J A は る え：信用担当者とTACの同行訪問を実施。
J Aテラル越前：融資担当者とTACの同行訪問を実施。
J Aたんなん：月1回のTACミーティングに本店信用担当者が出席し、各課の情報共有化を実施。
J A 池 田：四半期ごとのリスク定例会による各課の情報共有化を実施。
J A越前丹生：低金利なJA独自資金（農機具購入資金）を販売し、かつ信用担当部署と営農担当部署の合同会議を開催。
J A越前たけふ：営農担当部署と連携し、担い手向け商品説明会を開催するとともに、個別訪問を実施。
J A 敦 賀 美 方：営農窓口・農機窓口に農業資金のパンフレットやポスターを設置。
J A 若 狭：TAC会議に本店信用担当者が出席し情報共有を実施。加えて、支店渉外担当者とTACの同行訪問を実施。

※ TAC・・・「地域農業の担い手に向くJA担当者」の愛称を単協・連合会が一体（チーム）となって地域農業をコーディネートするという意味を持つ「Team for Agricultural Coordination」の頭文字をとったもの。

(4) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、J Aの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測（農業メインバンクCS調査）を行っています。また、得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

福井県J Aバンクは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 次世代農業者の育成支援

福井県J Aバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

	平成 27 年度 実行件数	平成 27 年度 実行金額	単位 件、百万円 平成 28 年 3 月末 残 高
青年等就農資金	3	9	22
就農支援資金			10
合計	3	9	32

(2) 農商工連携の推進

福井県J Aバンクは、J Aバンク富山、J Aバンク石川、長野県J Aバンク、北陸3県全農系統およびJ Fマリンバンクと連携し、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会・ビジネスマッチングによる販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」として多様な機能を発揮しています。

【平成 27 年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加 団体数	内容
J A・J Fグループ 北陸信州 食の魅力 発掘商談会	平成 28 年 1 月 21 日	富山県・石川県・ 福井県・長野県の J Aバンクおよび J Fマリンバンク	51 団体	農商工連携を推進するための商談会。販路拡大、調達ニーズに対応。併せて商取引セミナーを開催。



< 商談会会場風景 >



< 商談風景 >

(3) 被災者等への支援

福井県 J Aバンクでは、天候不順による米価下落と収量低下による農業収入の減少に困窮する農業者の経営維持を支援するため、農業資金緊急助成措置を制定し、担い手に対する支援に取り組んでいます。

単位 件, 百万円

取組事例	J A名	内 容	件数	貸付実行金額
農業資金緊急助成措置	福井県 J Aバンク	県下 J A統一資金(農業緊急災害対策資金)および下記の J A独自資金を対象とし、該当 J Aに対しより助成金を交付する。	49	87.45
農業資金緊急助成措置	県下 J A	県下統一資金(農業緊急災害対策資金)を活用した農業者の所得減少に伴う支援策	(17)	(35.32)
農機具等購入の際の支援資金創設	J A越前丹生	農機具等の導入に必要な資金を低利で融資し、支援することで、生産力の向上、経営の安定化を図る。	(6)	(12.83)
組合員農家の経営に関する資金の低利での融通対応	J A若狭	米の減収により影響が発生した組合員に対し、無利子資金を融通する。	(26)	(39.3)

※ () は本措置の内訳

(4) 経営不振農家の経営改善支援

福井県 J Aバンクでは、負債整理資金の対応等にあたり再生計画の策定支援や経営指導など、農業者の経営改善支援に取り組んでいます。

【平成 27 年度 農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位: 先)

	期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A	
		正常先①	4	0		4	0.0%
要注意先	うち 其他要注意先②	2	0	0	2	0.0%	0.0%
	うち 要管理先③	2	0	0	1	0.0%	0.0%
	破綻懸念先④	2	1	0	2	50.0%	0.0%
	実質破綻先⑤	3	1	0	3	33.3%	0.0%
	破綻先⑥	0	0	0	0	0.0%	0.0%
	小計 (②～⑥の計)	9	2	0	8	22.2%	0.0%
	合計	13	2	0	12	15.4%	0.0%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 27 年 4 月 1 日時点のものです。

3 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献
 福井県 J Aバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

食・農への理解促進

福井県 J Aバンクは、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、平成 27 年度には県下の小学校へ約 8,600 冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下 J Aでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【 J Aバンク食農教育応援事業による活動内容】

J A名	活動名	活動内容
J A福井市	学校教育田	田植え・稲刈り体験
	枝豆収穫体験	親子で枝豆の収穫体験および試食会
J A福井市南部	なかよし田んぼ	地元小学生と田植え・刈取りを体験
	収穫体験教室	地元保育園児とサツマイモ苗植え・芋堀り体験
J Aはるえ	ちゃぐりん配布	各小学校へのちゃぐりん無償配布
J Aテラル越前	1 支店 1 協同活動	全支店にて特産物の販売や P R 活動実施
J Aたんなん	ちゃぐりんフェスタ	親子によるサツマイモ苗植え・芋堀り体験
J A越前たけふ	食の寺子屋	地場産農作物の伝承料理講習会の開催
	親子食農体験	親子で食農体験を行う
	料理教室	季節の地場野菜を使った料理を学ぶ
J A敦賀美方	地場産学校給食	地場産野菜を給食用に提供
	梅加工体験教室	中学生を対象とした梅加工の体験
J A若狭	ちびっこ農業寺子屋	小学生を対象とした米作りの体験
	チャレンジ農園	小学生を対象としたアジア・アフリカ支援米作りの体験
J Aバンク 福井県信連	キッズ・アグリマーケット in 大和田げんきまつり	県内小学生を対象とした、県産野菜の収穫・選別・販売の体験



<キッズ・アグリマーケット 収穫>



<キッズ・アグリマーケット 競り>



<キッズ・アグリマーケット 販売>



<キッズ・アグリマーケット 売上発表>

以上